

令和4年度第2回安城市学校給食共同調理場運営委員会 会議録

1 日 時 令和5年3月15日(水) 午後2時00分～午後3時00分

2 場 所 安城市教育センター 2階 会議室

3 出席者 会長 杉浦 実憲 副会長 上田 将人
委員 清水 千晴 瀧本 洋一 中野 美里
早川 千絵 熊谷 さゆり 平川 淳子
神谷 伊代 安井 弘美 鳥居 貴之
深田 将輝 仲程 智奈美 山黒 恵理子
稲留 雄一

【市、県職員】

教育長、教育振興部長、総務課長、総務課課長補佐兼給食係長、
給食係専門主査、給食係1名

山本栄養教諭、中島栄養教諭、岡田栄養士（給食係主査）

谷川係長（保育課入園係）、竹中栄養士（保育課主査）、

【学校給食協会】

給食事務局長

合計 28名

4 欠席者 藤井 友美

5 傍聴者 なし

6 議 題

- (1) 令和5年度給食実施計画について
- (2) 令和5年度1学期の給食献立について
- (3) 令和5年度食物アレルギー対応について

7 報告事項

- (1) 給食物資購入状況と令和5年度の対応について
- (2) 学校給食協会事業実施状況について
(公益財団法人安城市学校給食協会)

8 議事（司会進行：総務課長）

本来ですと、北部調理場で給食を試食したのち、会議を開催する予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、教育センターへ会場を変更させていただきました。第1回に続いての変更で申し訳ありま

せんが、ご了承いただきますようお願いいたします。

会議に入ります前に、お願いがございます。この運営委員会の会議の状況は、録音をさせていただき、主だった内容を市公式ウェブサイトに掲載してまいります。ご発言の際は、マイクをお持ちしますので、マイクを通してお願いいたします。

それでは、ただいまから、令和4年度第2回学校給食共同調理場運営委員会を開会いたします。始めに、安城市教育長石川よりごあいさつ申し上げます。

(1) あいさつ（教育長）

皆様こんにちは。

本日はお忙しい中、本年度第2回目の学校給食共同調理場運営委員会にご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

時が経つのは早いもので、今年度も残り2週間ほどとなりました。

既に中学校の卒業式が7日に行われ、小学校の卒業式が20日、保育園・こども園の卒園式が23日、サルビア学園が28日となっておりますので、今年度の給食も残りわずかとなっております。

さて、給食事業に関する1年を振り返りますと、今年度は、市制70周年記念事業として学校給食レシピコンテストが開催されました。応募いただいた196件の中から、最優秀賞に輝いた「安城ハーモニーカレー」を先月14日に市内の小中学校へ提供しました。当日は、私も桜井中学校へ伺い、先生ほか、生徒の子も呼んでもらって、一緒に会食をさせていただきました。

地元産の野菜と、隠し味で、イチジク、本当においしいなとバランスもよくアイデアに富んだメニューでおいしくいただいたのですが、私の印象としては、そこに同席してくださった栄養教諭の先生、それから3人の生徒に同席してもらったのですが、1人は夏に行われた中学生議会で、安城市の学校給食についての提案をしてくれた子とぜひしゃべりたいのでということで呼んでいただいて、あと桜井中学から同じ中学生議会で、もう2人の女子生徒が参加していたので、その子たちともしゃべりたいということで3名の子に加わってもらいました。

よかったのは、栄養教諭の先生がおっしゃっていたことですが、ハーモニーカレーは食べれば、当然おいしいし、食べておしまいになってしまうが、そこに子供たちには目に見えない部分の影のいろんな工夫であるとか、例えば低学年の子と、高学年の子と中学生と、味変えてあることが分かったこと。

また、特にカレーという香辛料使うということもあって、そういうこととか日ごろの給食に対する栄養士や調理員さんたちの思い、あるいは願いみたいなものにそこで触れることができた。

だから子供たちにもいろんな話をしていたのですがそこで感謝の気持ちの言葉が出てきたり、そういう良い時間になったらと私自身としてはとてもありがたい時間をいただきました。

そういった明るい話題もあったのですが、一方で、今年度、皆さん感じられているとおり、物価高騰の影響がものすごくあったのが給食です。

食材への影響は当然大きく、当初年間で予定を立てているのですが、献立の変更を余儀なくされ、栄養価に影響のない範囲で食材をいろいろ調整したりしてきました。

そうやって購入の工夫をしてくれたおかげで、最終的に昨年度と比較をすると材料費が1%上昇と、何とかこれをよく押さえてくれたなと思います。

ありがたいことに、調味料だとか油だとか、そういうものは上がっているのですが、野菜、青果の方がかなり安価に入荷できたことでこの数字におさまってまた後ほどお話があると思いますが、そんな具合でした。

もう1点困ったのは、やっぱりずっと続いてきている、新型コロナの影響です。

学級閉鎖が1月末現在で、延べ363クラス、欠食数が18,070食分とそれだけのものがありましたので、その間の食材の発注の調整、これもすごく苦労されました。

できるだけ食材が廃棄するというふうになるのは抑えたいということで、調理場の方で調整を随分してもらいました。

学級閉鎖中の給食費については、保護者負担は実際には生まれませんが、これで市の負担となっていくしますので、少しでも負担がないように、学校と密に連絡を取り合いながら、少しでも無駄がないように努めてきました。

この1年本当に通常の業務とは違った部分が多かったなど、またさまざまな影響を受けた1年であったのですが、給食の提供、ここで無事に何とか終われるのはここにいらっしゃる運営委員の方々もそうですし、給食にかかわっていただいた、全ての方々の本当にありがたい御尽力のおかげであります。

本当に感謝申し上げたいと思っております。

今年度の会議はこれが最後になるわけですがけれども、実際に給食を食べていただけないのが私としてはとても一番、何かね、委員をやってきたけど、これで食べられたのでいいやという風に終わりたかったのですが、本当にこういう状況の中なので申し訳ありません。

今後も安心安全な提供ができていくように尽力してまいりたいと思いますので、また引き続き、立場変わる方もいらっしゃると思いますが、御支援いただけたらと思っております。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

(2) あいさつ (杉浦会長)

皆さんこんにちは、小中学校長代表ということで運営委員会の会長を務めさせていただきます。桜井中学校の杉浦です。よろしく願いいたします。

今教育長さんからもお話あったように、本日は今年度2回目ということになりますが、定例の会議としては最後の会ということですので、お願いしたい

と思います。

これまで同様に、皆様の御協力によって給食をよりよいものにして、子供たちがその給食、食を通して学校の目標である、食の重要性であったり、身体心身の健康ですね、体の健康、あと感謝の心、社会性などを身につけていてほしいなと思っています。

本日たまたま今この話題で申し訳ないのですが、桜井中学1年生、1学級であります。総合的な学習の時間SDGsを考えるとということで、たまたま株式会社勤労食さん、市役所のIKOTTOですかね、そういったところの社員食堂を運営されている副社長にと、もう1名、女性の方に来ていただいて、食に関する事業などの情報提供をいただきました。

実際子供たちの方がこのIKOTTOさんというか、勤労食さんを選んでこちらからアポイントメントをとりました。給食を通してではないですけどもそういう食に興味を持つことはいいなとは正直思いました。

その会社でいきますと、パクーンという食べられるスプーンを開発しているということですけども、そういったところから、子供たちのアイデアをそちらの会社に提供したり、こういった取り組みはいかがですかとか、苦勞した点はないですかって、そういったところで活発な意見交流がされたという点についてもちょっとうれしく思っています。

その中で話題になったのは、大人ですね。

特に習慣化すると野菜を食べないのでしたらその野菜を食べてもらえるかっていうことを随分悩んでいらっしゃるというお話がありました。

給食の、栄養教諭について聞いても、恐らく、小学校、中学校を通して、食べず嫌い食わず嫌い、食べてみておいしいんだけどなかなか口にできない部分については、また、今日のような機会をとらえながら学校教育、食の教育に生かしていきたいという風にそういったお話もありましたので、ぜひぜひまた楽しい給食とともにそういった食の重要性を伝えていけたらなということも改めて感じさせられました。

本日はまたよろしくお願ひいたします。

(3) 議題審議（議事進行：杉浦会長）

議題1 令和5年度給食実施計画について

資料1 「令和5年度給食実施計画について」に基づき説明

（給食係 北川専門主査より説明）

「質疑・要望」

杉浦会長

※委員の方に意見や質問等発言を求めるも他に意見無し。拍手により了承。

議題2 令和5年度1学期の給食献立について

資料2 「令和5年度1学期の給食献立について」に基づき説明

（山本栄養教諭、岡田栄養士より説明）

杉浦会長

説明が終わりました。御意見・御質問などありましたら御発言の方お願いいたします。

早川委員

4月の献立が子供たちの人気のある献立だということだったのですけれども、それは子供たちにこの給食が好きだよっていうアンケートとかをされているのか、もしくは残ってきた残飯を見て、残食量が少ないんでやっぱり人気があるね、っていう風にそちらのほうで判断されているのか、どうなのでしょう。

事務局 岡田栄養士

人気のある献立については、先生方から検食簿を頂いておまして、そちらのほうにこの献立はよく子どもが食べたよとか、人気でしたとかっていうアンケートというか、子供たちの様子を書いてくださる欄がありますのでそちらのほうで判断させていただいております。

杉浦会長

他にはよろしかったですか。

すいません余談ですがこの人気メニュー、うちの娘が三つ挙げたもの全て入って行って、ちょっと驚きました。スタートダッシュメニューということで、よく考えられていますのでよろしくをお願いいたします。

では他に発言がないようですので、令和5年度1学期の給食献立につきましては、御異議のない方は拍手をもって御承認をお願いいたします。

(拍手、承認)

ありがとうございました。

はい、それでは次に入ります。

議題3 令和5年度食物アレルギー対応について

資料3 「令和5年度食物アレルギー対応について」に基づき説明

(事務局 給食係 北川専門主査より説明)

杉浦会長

はい、ありがとうございました。説明の方が終わりました。食物アレルギー対応について御意見・御質問などがありましたら御発言をお願いいたします。

瀧本委員

例えば私立園で、アレルギー対応についてとにかく血液検査が必要だという話があり、血液検査の結果を持ってこないで給食を食べさせないなどすごく言われる園があります。

だから医者側から言わせてもらおうと、そういう検査が要るか要らないかは、病院で決めれば良いことであって、園の先生が決めることではないのに、非常に言われることが多いのでちょっと困っているので、広報していただきたいということです。

事務局 北川

我々のほうからお願いをしております学校生活管理指導表については、医師

の方の診断になるものですから、その血液検査がなくてもそういう診断ができる、管理が必要、必要じゃないという判断ができるということなのであれば、そこまで必ずしも血液検査を行う必要というものではないと考えております。医師の方の診断で、この管理指導表を御記入いただいている保護者の方にお渡しをしていただければと思います。

学校生活管理指導票の提出については毎年学校現場の方をお願いをしておりますので、その機会にまた周知の方をさせていただきたいと思っております。

事務局 稲留課長

瀧本先生の今のお話の中で、要はこちら側でいうと小・中学校公立を中心に管轄している部分もありますので、なかなか私学の方にうまく連絡がつかないこともあるんですね。もし公立だったりする場合であったら直接教えていただければこちらから指導ももちろん入れられるのでもし要望があれば教えていただけるとありがたいなっていることは思います。

瀧本委員

はい。

事務局 稲留課長

もう一つですねアレルギーの、事後報告があっという間だと思っていて、要はあってからの対応の周知徹底を今十分できているから、研修もできているしエピペンの演習も全部できていますし、ただ、未然予防の観点の指導を今後またぜひ栄養教諭さん中心にやっていただけるといいかなと。起きてからの指導ではなくて、起きる前の未然予防を学校教育課ももちろん訪問しながら話をしてきますけども、ぜひそういった観点でやっていただけるといいかなということを思います。

もう一つこれも瀧本先生にお伺いしたいのですけれど、最近初発のアレルギー、要は持ってない子たちが突然なるっていうのが県でも幾つか報告されてんですけどもそういう時の教員の対応として、どんなのが1番うまい対応できるかなというのを、もしあれば教えていただきたいと思います。

医師会代表 瀧本医師

基本的にはですね、湿疹だけとかですね、そういうのは大丈夫なことが多いです。ただやっぱりそこに、湿疹にプラスしてせき込むとかですね、おなかを痛がるとかですね、そういうようなこと、ドキドキしちゃうとかですね、いわゆる循環消化器系の症状が多少なりとも訴えたらすぐに病院へというのが安全だと思います。

湿疹だけで何かなっちゃうことはもう本当にありませんが、それにほかのものが加わり出したときは急激に症状が進むことがあるので、やはり注意すべきもの。

そうなったらもう救急車でもいいと思っておりますので、基幹病院へすぐ送るという対応さえしていただければよろしいと思っております。

杉浦会長

ありがとうございました。では今後の対応ということで、また事務局のほうよろしく願いいたします。ほかに御意見はよろしいですか。

では、他にないようですので令和5年度食物アレルギー対応について、御異議のない方は拍手をもって御承認をお願いいたします。

(拍手、承認)

ありがとうございました。

本日の議題については、この三つでございます。

(協議事項終了)

9 報告事項

(1) 報告事項1 給食物資購入状況と令和5年度の対応について

※資料4 「給食物資購入状況と令和5年度の対応について」に基づき説明
(事務局 給食係 北川専門主査より説明)

杉浦会長

説明が終わりました。御質問等ありましたら御発言をお願いします。

質問等無いようでしたら次に移ります。

(2) 報告事項2 学校給食協会事業実施状況について

※資料5 「学校給食協会事業実施状況について」に基づき説明
(学校給食協会 鈴木局長より説明)

杉浦会長

説明が終わりました。以上で議題及び報告事項がすべて終了しましたが、全体を通じて御質問等ありましたら御発言をお願いします。

上田副会長

最後の会議ということで一言だけ。教育長初め学校教育課長含めて、教育委員会の方々には、こういった給食費を据え置きでやっていただけるということですね、保護者を代表して本当にこれはありがたいことだと思っています。世間一般を見ますと、昔は吉野家の牛丼なんか250円で1杯食べられたものが今500円ぐらい近くすると、倍になったかと。

そういうことで考えると、この給食が今この御時世に200円台で食べられるっていうのは、本当にとっても我々にとってはですね、ありがたいことかなと思います。

いろいろですね、経済的な負担だとか、さまざまな理由で今、保護者のほうも頑張っておるのですが、こういう取り組みをしていただけるということが子供たちをより大きく成長させることだと思っています。また私も多分今年で役職をおりると思うのですが、引き続き、なるべく給食費の据え置きを続けていただけるよう御尽力をお願いしたいと思います。ありがとうございます。

杉浦会長

ありがとうございました。

では、本日の運営委員会の全日程をこれで終了いたします。皆様の御協力に

よりスムーズに進行ができました。本当にありがとうございました。

10 その他

事務局 澤田課長

皆様方の運営委員としての任期は令和5年5月14日までとなっております。それまでの間、急遽皆様にお諮りしなければならない案件が出てこなければ本日の会議が最終となります。運営委員の皆様におかれましては1年間、大変お疲れ様でした。また今後も引き続き本市の給食事業に御審議いただきますとともに、お気づきの点などがございましたら、いつでも結構ですので、また御意見等いただければと思っております。

それではこれもちまして令和4年度第2回運営委員会を終了といたします。お帰りの際は交通事故、交通安全等にお気をつけてお帰りください。

ありがとうございました。